

ステークホルダーからの取り組み報告 <消費者>

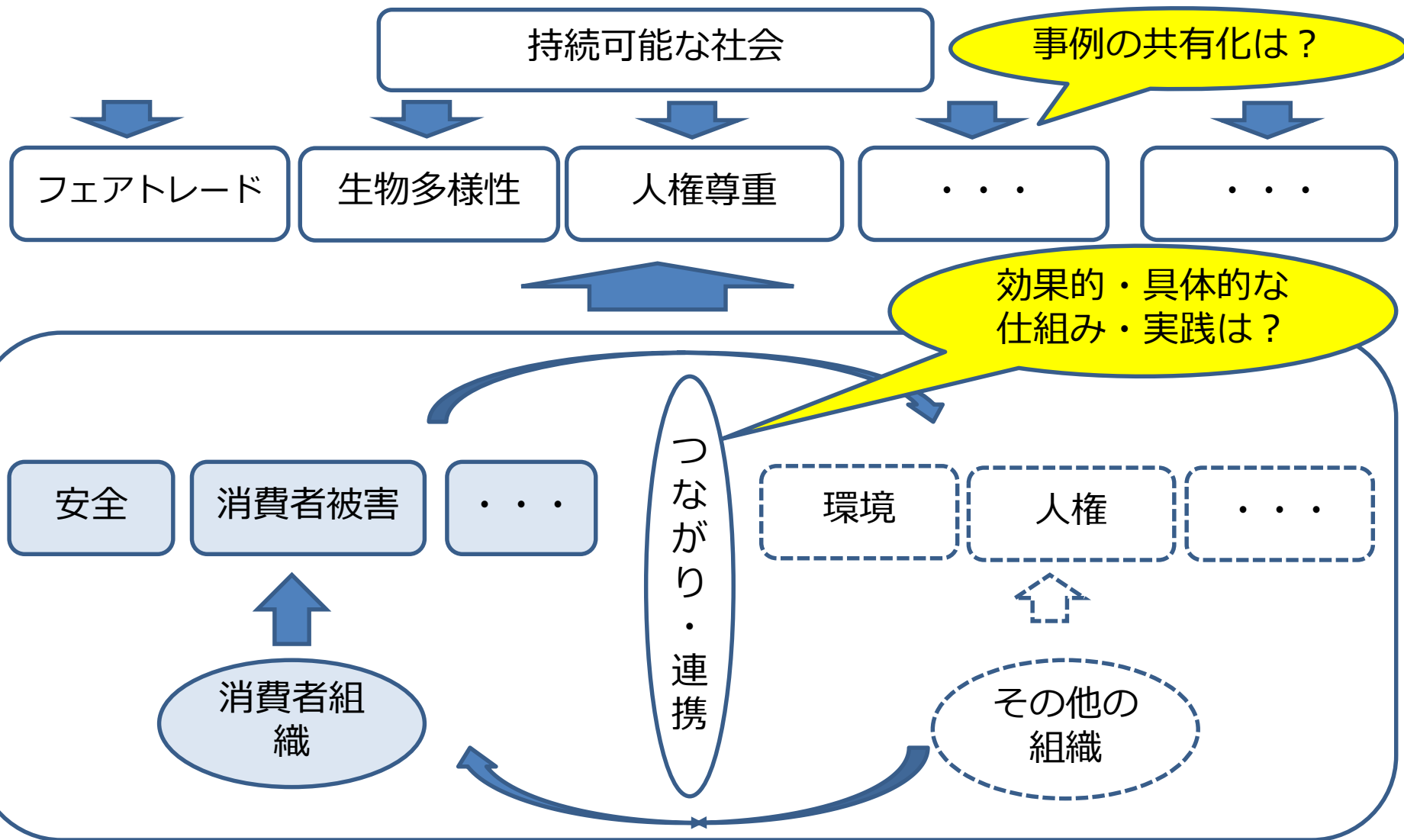
サステナビリティ消費者会議（CCFS）

代表 古谷由紀子

サステナビリティ消費者会議（CCFS）

- 2014年設立
 - 消費者組織として、他のステークホルダーとともに、持続可能な社会に向けての取組みをさらに前進させるために、消費者問題の専門家を中心に設立
- 現在の活動
 - コンプレインレターの普及
 - 検討中
 - 消費者市民チェックリスト
 - ステークホルダーダイアログのあり方
 - 広告・表示における企業の取組み体制
 - 異物混入に関する企業と消費者のコミュニケーション
 - CSR・消費者志向事例調査と公表
- 他団体・活動との連携
 - 消費者市民社会をつくる会
 - 子どもの権利と広告
 - 食品ロス
- その他
 - 消費者庁「消費者教育推進会議」委員

SDGs>実態と実践の現状と課題（イメージ）



SDG s の内容や達成に向けての課題と取り組み

- 課題
 - 消費者関連組織
 - 認識
 - 消費者被害の救済との関連 ★消費者教育も同様の課題
 - 個別
 - 認識
 - 活動とのつながり
- 取組
 - 消費者政策分野
 - 消費者教育推進法 消費者市民社会に向けた消費者教育
 - 地方での取組み（例.2015年7月福島市民のくらしの展）
 - テーマ「あなたの行動で社会が変わる～何ができるか、見つけ、実践しよう！～」
 - CCFSなど
 - 「コンプレインレター」「知的財産権」「食品ロス」「子どもの権利と広告」「企業と消費者とのコミュニケーション（食品の異物混入）」

他のステークホルダーとつながり、 連携の必要について

- 組織・人とのつながり、連携
 - CCFSの場合
 - 消費者市民社会をつくる会（ASCON）との関係など
 - SR円卓会議（消費者教育など人材育成）
 - 消費者教育フェスタ（文科省）
 - 消費者庁「消費者教育推進会議」
 - 消費者市民社会の形成に向けた消費者教育
- 事例によるつながり、連携
 - 事例の発見・共有・蓄積
 - 最近の関心と取り組みから
 - 「コンプレインレター」「食品ロス」「子どもの権利と広告」
- 全体の動きになるために
 - 全体把握
 - 中核となる組織・人・事例・・・消費者組織の場合
 - 促進の仕組み
 - 既存の仕組みの活用
 - 新規